

東北地方 1 か月予報

(12月23日から1月22日までの天候見通し)

平成18年12月22日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

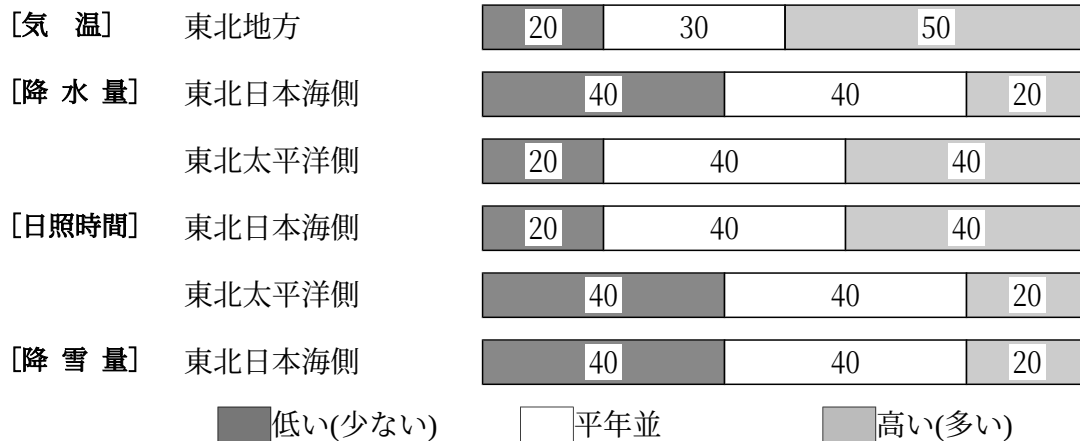
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は冬型の気圧配置は長続きせず時々低気圧や気圧の谷が日本付近を通過し、期間の後半は冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

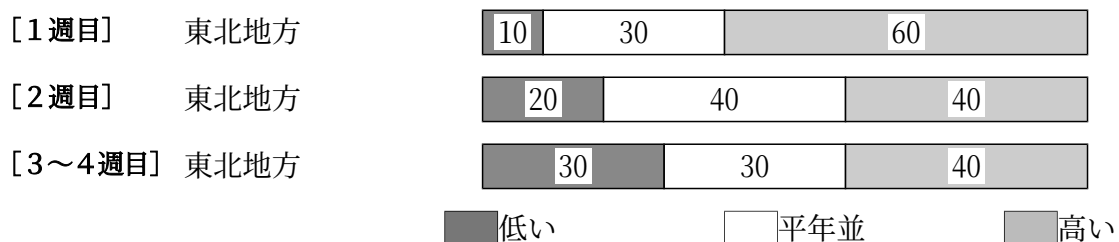
気温は、高い確率が50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または少ない確率がともに40%、東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率がともに40%、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が60%、2週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 12月23日(土) ~ 1月22日(月)
1 週目 : 12月23日(土) ~ 12月29日(金)
2 週目 : 12月30日(土) ~ 1月 5日(金)
3~4 週目 : 1月 6日(土) ~ 1月19日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月29日

3か月予報：12月25日（月） 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温(℃)		
					1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	-0.7	143.8	54.6	228	0.2	-0.4	-1.2
深浦	0.4	103.4	31.8	111	1.5	0.9	-0.1
むつ	-0.8	92.3	74.1	146	0.2	-0.4	-1.3
八戸	-0.4	46.1	130.5	89	0.5	-0.1	-0.9
秋田	0.6	127.9	45.0	124	1.6	1.0	0.2
盛岡	-1.4	53.7	117.6	101	-0.3	-1.0	-1.9
大船渡	1.4	43.4	145.6	14	2.4	1.8	1.0
宮古	1.0	47.7	157.0	31	2.0	1.4	0.5
仙台	2.2	34.0	148.3	31	3.2	2.5	1.7
石巻	1.2	34.7	162.2	0	2.2	1.6	0.8
山形	0.2	78.4	87.7	146	1.3	0.6	-0.4
新庄	-0.7	189.7	40.9	256	0.2	-0.4	-1.2
酒田	2.2	164.9	40.3	125	3.3	2.7	1.6
福島	2.1	44.2	132.3	73	3.1	2.4	1.6
若松	-0.1	82.6	75.4	171	0.8	0.2	-0.5
白河	0.8	31.2	157.6	51	1.7	1.1	0.3
小名浜	4.2	45.0	186.2	0	5.1	4.5	3.7

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にしてください。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.6	74～98	98～105	80～104
東北日本海側	-0.2～+0.6	91～107	96～109	87～111
東北太平洋側	-0.2～+0.7	57～98	96～104	69～100

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.5～+0.8	-0.4～+0.8	-0.6～+0.8
東北日本海側	-0.5～+0.8	-0.5～+0.8	-0.6～+0.7
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.5～+0.9	-0.6～+0.8

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 12 月 22 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（12 月 23 日～1 月 22 日）：

期間の前半は冬型の気圧配置は長続きせず時々低気圧や気圧の谷が日本付近を通過し、期間の後半は冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は高い確率が 50%です。

1 週目（12 月 23 日～12 月 29 日）：

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で雪または雨の日が多いですが、期間の中頃は晴れる所があるでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に晴れる日が多いですが、気圧の谷の影響で期間の中頃は雨または雪の所がある見込みです。

平均気温は高い確率が 60%です。

2 週目（12 月 30 日～1 月 5 日）：

冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。時々低気圧が日本付近を通過する見込みです。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

3～4 週目（1 月 6 日～1 月 19 日）：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。一時寒気が南下する見込みです。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

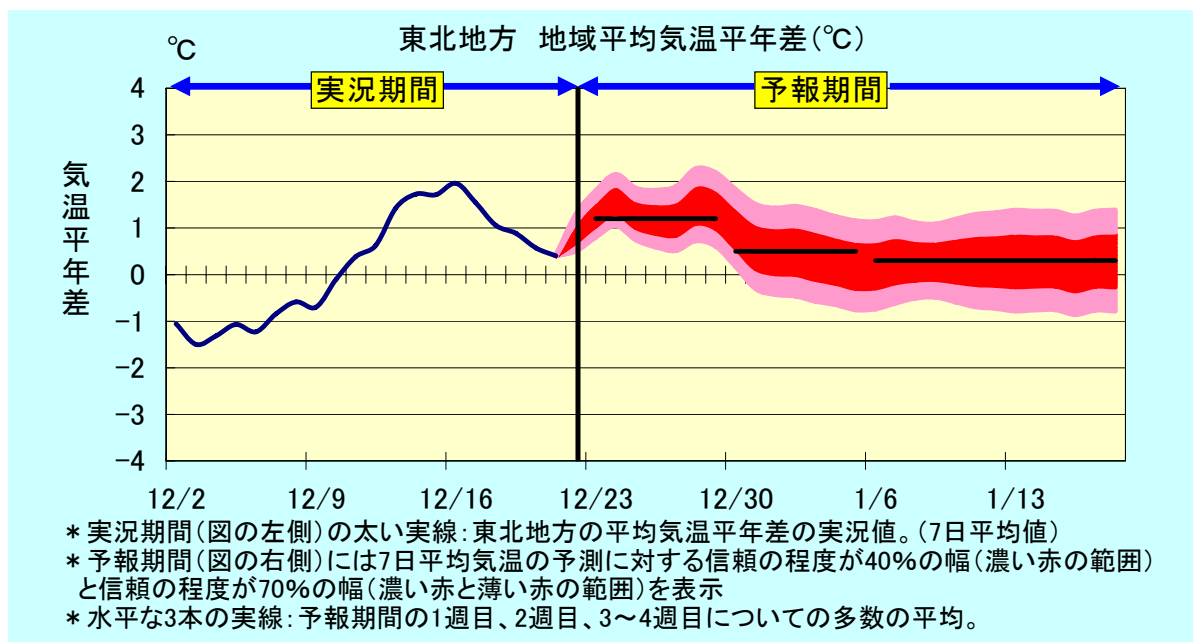
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.7 日	1.2 日	1.1 日	2.4 日
東北太平洋側	17.4 日	4.2 日	4.2 日	9.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を上回るが、2 週目、3～4 週目は平年付近の予想となっています。なお、数値予報の信頼度は大きい。

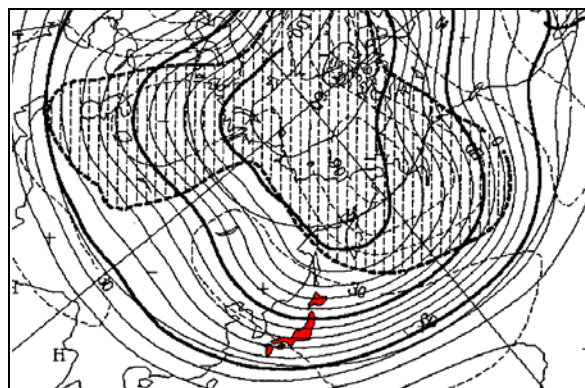


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

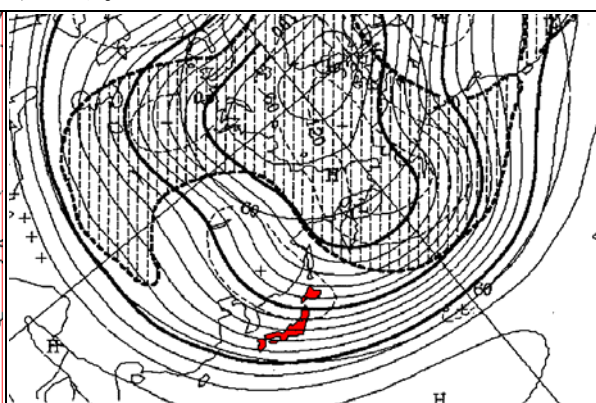
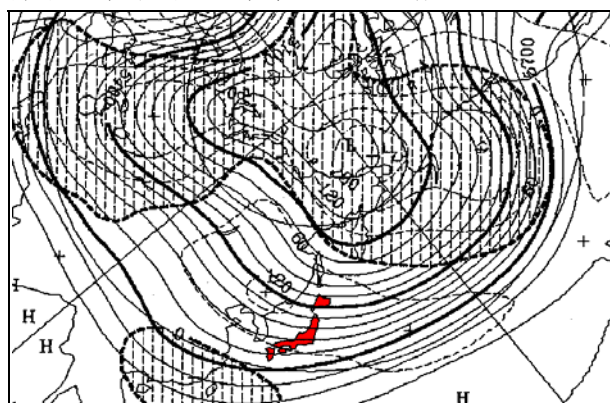
1か月平均：北極付近は負偏差で寒気は蓄積傾向。日本付近の中緯度帯はバイカル湖付近から日付変更線の東まで広がる正偏差となり高温傾向が予想される。日本付近の等圧線は東西に走り、低気圧が数日の周期で通過することを示しており、東北日本海側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が少ない見込み。

1週目：日本付近は中国東北区に中心を持つ正偏差に覆われ日本の東海上は正偏差で、東北日本海側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が少ない見込み。

2週目：北日本を中心に正偏差となるが、1週目に比べ偏差は小さくなり、高温傾向ではあるが気温は平年並に近づく。天気は東北日本海側では平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が少ない見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

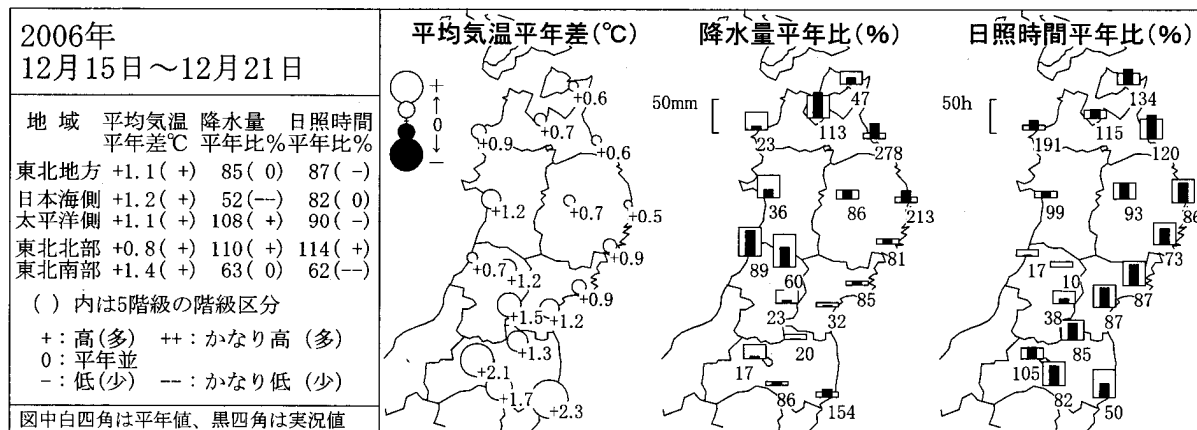
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（12月15日～12月21日）の天候の経過

この期間、数日の周期で低気圧や気圧の谷が通過し、冬型の天気は一時的だった。このため東北日本海側を中心にぐずついた天気となり、東北太平洋側では晴れのところが多かったが、日本海を低気圧が通過した17日には東北太平洋側沿岸部でも雪や雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で多く、東南北部でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

5. 寒候期 季節現象(初日)

2006/2007年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.19	10.23	10.27	11.20	10.29	11.16	11.12	11.7	11.8
八戸	11.2	10.27	11.16	11.19	11.2	11.16	11.12	11.11	11.15
秋田	11.19	11.6	11.21	11.19	11.13	11.21	11.16	11.12	11.15
盛岡	10.22	10.18	10.26	11.2	10.24	11.1	11.12	11.8	11.15
宮古	11.18	10.31	11.10	11.18	11.5	11.10	11.30	11.16	11.30
仙台	11.18	11.06	11.20	11.19	11.16	12.3	12.2	11.22	12.3
山形	11.9	10.24	11.1	11.19	10.29	11.1	12.1	11.16	11.19
酒田	11.19	11.12	12.6	11.19	11.20	12.6	12.1	11.17	11.30
福島	11.19	11.6	11.17	11.19	11.11	11.17	12.3	11.24	12.3
若松	11.19	10.28	11.1	11.19	11.6	11.1	11.12	11.17	11.16
小名浜	11.25	11.11	11.18	11.25	11.19	11.21		12.13	12.15

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハツコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	11.8	ガンドサン 雁戸山	1485	11.8	10.28	11.10
イワキサン 岩木山	1625	11.8	10.15	11.9	リュウザン 滝山	1362	11.8	10.30	11.10
ハシカミダケ 階上岳	740	11.30	11.12	11.19	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.8	11.6	11.9
タイヘイザン 太平山	1170	11.12	10.31	11.9	ザオウザン 蔵王山	1841	11.8	10.23	10.24
イワテサン 岩手山	2038	10.9	10.13	10.24	アツマヤマ 吾妻山	1949	11.8	10.21	10.23
チョウカイザン 鳥海山	2236	10.9	10.9	10.25	イイデサン 飯豊山	2105	11.8	10.17	10.24
ガツサン 月山	1984	11.8	10.15	10.26	バンダイザン 磐梯山	1819	11.8	10.24	11.9
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.8	10.19	11.10					

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

* 大船渡測候所が平成18年10月1日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、大船渡における寒候期季節現象および五葉山の初冠雪の観測は終了しました。

お 知 ら せ

平成 19 年の季節予報発表日について

平成 19 年の季節予報発表日は次のとおりです。

	1 か月予報	3 か月 予報	暖候期 予報	寒候期 予報
1 月	5 日、12 日、19 日、26 日	25 日		
2 月	2 日、 9 日、16 日、23 日	22 日	22 日	
3 月	2 日、 9 日、16 日、23 日、30 日	22 日		
4 月	6 日、13 日、20 日、27 日	25 日		
5 月	4 日、11 日、18 日、25 日	24 日		
6 月	1 日、 8 日、15 日、22 日、29 日	25 日		
7 月	6 日、13 日、20 日、27 日	25 日		
8 月	3 日、10 日、17 日、24 日、31 日	23 日		
9 月	7 日、14 日、21 日、28 日	25 日		25 日
10 月	5 日、12 日、19 日、26 日	25 日		
11 月	2 日、 9 日、16 日、23 日、30 日	22 日		
12 月	7 日、14 日、21 日、28 日	25 日		

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係
Tel：022-297-8110